

< 巻頭のことば >

カントは、生れ故郷の東プロシアを終生はなれたことがなかつたが、その世界・宇宙にかんする知識は当時のいかなる学者よりも深かつたという。しかしこれは彼のような天才の場合で、通常は日頃の身体の行動半径が、思索にも大きな影響を及ぼしている。この意味で、探検部の諸君が機会あるごとに「遠出」をして各地を見聞していることは大へんよいことだとおもう。井の蛙にならない為には、しかし同時にこのような見聞を真に生きた知識とする為には、時に行動半径を縮めて読書三昧にふけることが大事なことはいうまでもない。



年代の古い洞穴、しんしよく作用で洞穴がくずれ去り一部分
だけ残った　まるで門の様だ